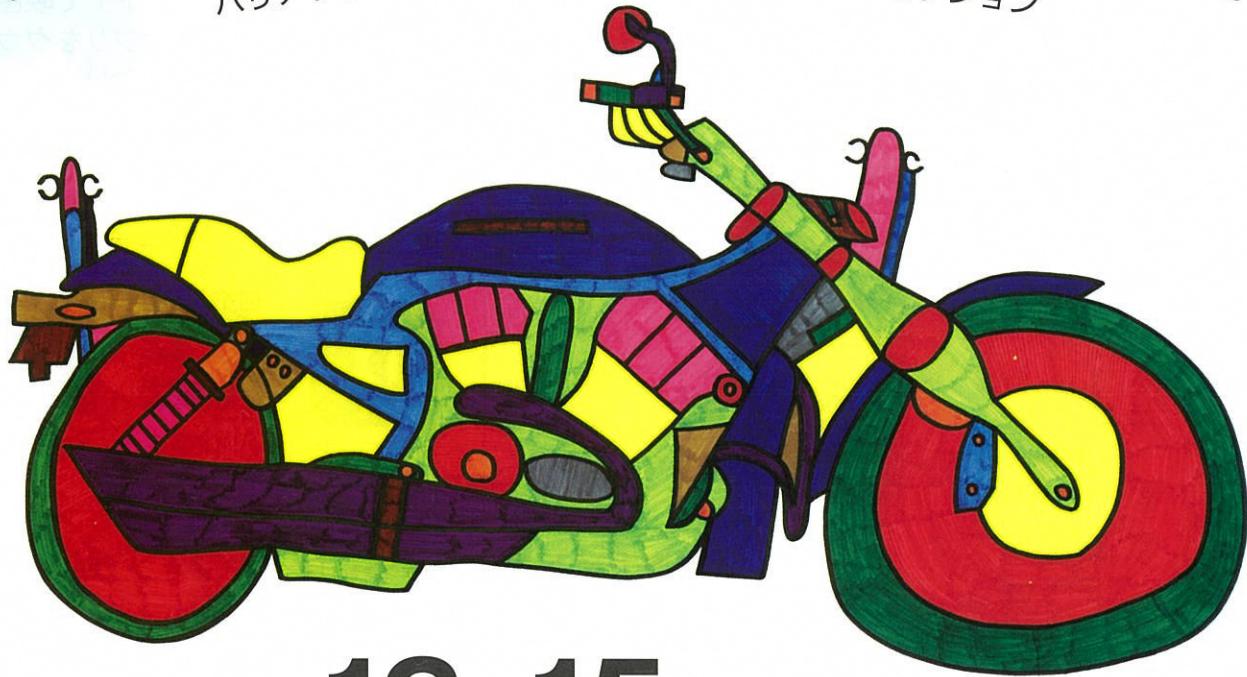


TRY- tryふおーらむ 2018

「誰でも誰とでも楽しく！バリアフリー体験」
バリアフリー映画「この世界の片隅に」&トークセッション



2018年12月15日(土) 13:00~16:00 (開場12:00)

柏崎市 市民プラザ 波のホール

参加費：一般 1500円 (当日1800円)・高校生/中学生 500円・小学生以下 無料

【第1部】UDキャスト^{*}や聴覚障害対応字幕を活用した映画上映 「この世界の片隅に」

【第2部】トークセッション 社会福祉法人ロングラン「西川紀子」×NPO法人にいまーる「武藤洋一さん」

※UDCast (ユーティーキャスト)とは

映画・映像・放送等の「音声」をスマートフォン等の携帯端末のマイクが拾うことで、その端末を通じて、字幕や手話の表示、音声ガイド再生等を行うことのできるアプリケーションです。映画や放送番組、Web動画、展示施設などに対して、障害や言語の壁を越えて誰もが情報を得ることができますを目的としています。観客、来場者のすそ野を広げ、これまでより多くの方が映像等の魅力に出会い、共感・共有する機会を提供します。

(お問い合わせ事務局・参加申し込み) 社会福祉法人ロングラン NPO法人トライネット

〒945-0052 新潟県柏崎市錦町5番20号 TEL 0257-21-5090 FAX 0257-21-5093 E-mail: longrun@longrun.or.jp
チケットは「キッチンばとと」(東本町)・「カフェみるく」(錦町) でも取り扱っています。

主催 TRY-tryふおーらむ2018実行委員会

共催 NPO法人トライネット 社会福祉法人ロングラン

後援 柏崎市・刈羽村・柏崎市教育委員会・柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会・柏崎市社会福祉協議会・一般社団法人柏崎市歯科医師会・柏崎市刈羽郡医師会
NPO法人柏崎まちづくりネットあいさ・NPO法人GrowUp・NPO法人地域活動サポートセンター柏崎・ぶれジョブ柏崎・柏崎市倫理法人会
柏崎商工会議所・柏崎青年会議所・新潟日報社・柏崎日報社・柏新時報社・柏崎コミュニティ放送・中央地区コミュニティ振興協議会
柏崎ロータリークラブ・柏崎東ロータリークラブ・柏崎中央ロータリークラブ・県立柏崎特別支援学校・県立はまなす特別支援学校

第1部 → UDキャストや聴覚障害対応字幕を活用した映画上映「この世界の片隅に」



こうの史代の同名漫画を原作とする、片渕須直監督・脚本、MAPPA制作の長編アニメーション映画。2016年公開。

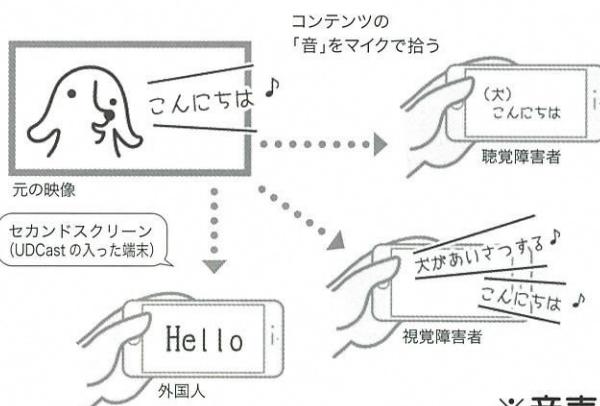
昭和19年（1944年）に広島市江波から呉に18歳で嫁いだ主人公すずが、戦時下的困難の中にあっても工夫を凝らして豊かに生きる姿を描く。

2016年11月12日に日本国内63館で封切られた後、公開規模を徐々に拡大して累計400館を超え、上映が500日以上続く異例のロングランとなった。

UDキャストを使って観よう！

UDCast（ユーディーキャスト）とは映画・映像・放送等の「音声」をスマートフォン等の携帯端末のマイクが拾うことで、その端末を通じて、字幕や手話の表示、音声ガイド再生等を行うことができるアプリケーションです。

映画や放送番組、Web動画、展示施設などに対して、障害や言語の壁を越えて誰もが情報を得ることができることを目的としています。



機械の準備

「スマホで聴く音声ガイド」で映画の鑑賞をするためには、アプリをダウンロードした機器が必要となります。携帯端末（スマートフォン）に無料アプリ「UDCast」をダウンロード。QRコードからもダウンロードできます。



Android

iOS

※音声ガイドを利用するにはイヤフォンが必要です。

第2部 → トークセッション　社会福祉法人ロングラン「西川紀子」×NPO法人にいまーる「武藤洋一さん」

新潟在住でNPO法人にいまーる所属、手話を通して聴覚に不便を抱えている方のコミュニケーション支援に力を入れている武藤洋一さんをお招きし、西川代表のコーディネートにより、「ともに楽しむには」などバリアフリーについて・色々な楽しみかた・表現の仕方などをお話しいただき、「ともに楽しむ」事を考えていく時間を持たせたい。

武藤洋一さんプロフィール

- ◆特定非営利活動法人にいまーる 就労継続支援B型 手話来家 支援員
- ◆手話通訳士/介護支援専門員/社会福祉士/介護福祉士
- ◆趣味 プール/瞑想/散歩

「伝えたいたい・理解したいという気持ちこそが、一番大切である」

15歳の時に、職業体験で訪れた“聴こえないパン屋”で初めて手話を出会う。

高校卒業後、「もっと福祉を学びたい」そんな思いから大学で社会福祉を専攻した。学業の傍ら「手話講習会」「手話サークル」に通い、地域の通訳活動を重ね、手話通訳士を取得す

る。卒業後の介護の現場では、続けていた手話通訳という強みをいかし「手話のできる介護支援専門員」として仕事の幅を広げた。現在、就労継続支援B型の支援員として働きつつ社会へ「手話×介護」という新しい手話通訳士の生き方を提案している。

